

謹賀



魅力あるまちづくりを目指して

笠松町長 広江 正明

新年あけましておめでとうございます。

2009年の輝かしい新春を迎え、町民の皆様のご健勝とご多幸を心からお祈りいたしますとともに、平素の町行政に対する多大なるご理解、ご協力に深く感謝申し上げます。

現下の社会経済情勢は、景気が足踏み状態から後退局面に入っており、国の歳出改革により国庫補助負担金などは削減・縮小され、地方財政を取り巻く環境は非常に厳しい状況にあります。

こうした中、笠松町におきましては、平成17年度から19年度まで町民の皆様のご協力のもと取り組んでおりました「行財政改革推進プラン」により、経常経費の削減や投資的経費の抑制、受益者負担の見直しなどを住民協働により進めた結果、推進プランの当初目標を上回る成果を上げました。

しかしながら、国から地方への税源移譲により税収が増加したものの、地方交付税は年々減少傾向にあり、また、道路・下水道整備や小学校の耐震補強工事など行財政改革推進期間中圧縮してきた投資的経費や今後増加する行政需要に対応するためには、今まで以上に健全な財政運営が必要となってきます。このような中、真に必要な行政サービスを見極めながら、安全安心なまちづくりの実現に向けて、各種施策を進めてまいります。

さて、笠松町では、本年7月に生誕120年の節目を迎えます。「木曾の流れと共に 未来へ続け！笠松町」を

スローガンに記念事業を行うため、検討懇談会を立ち上げ事業内容について検討を重ねているところであります。この記念事業につきましては一過性のものではなく、後世に残る事業、今後も継続していける事業を実施してまいります。

また、子どもから高齢者まで全ての人々が人権尊重の理念を正しく理解し、お互いに思いやりの心を持ち暮していくことは、いろいろな問題を抱える現代社会において重要です。このようなことから「道德のまち笠松」を目指し、社会に貢献しようとする精神を育み、道徳心やマナー、ルールを大切にする風土および人づくりを行っていきます。

さらに、川湊の町として残っている伝統的建造物や寺社仏閣、古い町並みなどの歴史的、文化的財産、豊かな自然や水辺の環境を活かし、人々が行き交う交流の場として「まちの駅・川の駅」を整備し、来訪者や町民の方への新たな情報の提供、発信をすることにより、より魅力ある施設となり、安心してまちめぐりが楽しめるよう、ネットワークづくりを進めてまいります。

今後も全職員一丸となって各種施策に取り組む所存でございますので、町民の皆様がこれまで培われてこられた英知と力を笠松町の発展のために賜りますようお願い申し上げますとともに、今後ますますのご健勝とご多幸を祈念申し上げまして、新年のご挨拶といたします。